

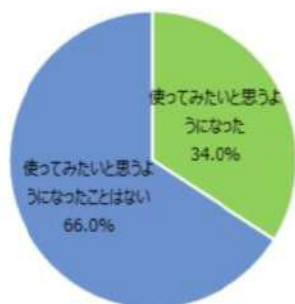
「デジタルデビューのためのスマホ教室～スマホを使いこなし、輝く第二の人生～」

【背景・デジタル格差の現状】

現在、60代方々の約25%、70歳以上の方々の約60%（約2,000万人程度）はスマートフォンを使いこなせていない。その理由としては、「必要性を感じない」「使い方がわからない」などであるが、スマートフォンの普及率は年々伸びており、スマートフォンが社会インフラの1つとなってきている。例えば、行政手続きもデジタル化し始めている。このような中で高齢者との「デジタル格差」は残っており、インターネットに不慣れな方々が取り残されないように、デジタル格差、社会的孤独を無くすために、高齢者のデジタルリテラシーの向上が必要である。そこで、高齢者がスマホを使えるようになり、心身ともに豊かに暮らしてもらうことを目標にシニア世代対象のスマホ教室を開催する。

【データ】

● 新型コロナウイルス拡大以降、スマートフォンを使ってみたく思うようになったが ※スマートフォンへ乗り換え検討者 (n=500)



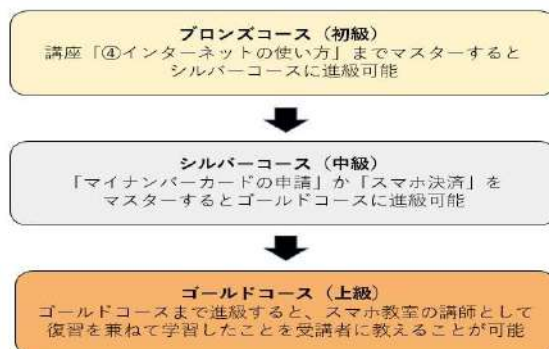
シニア世代の34.0%が新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、スマートフォンへの関心を高めている。

⇒誰一人取り残さない社会実現のため、デジタル・ディバイドをなくす

MMD 研究所調べ

【内容】

ブロンズコースからゴールドコースまでの3つのコースを用意する。1つの講座にかかる時間は約1-2時間程度を目安とし、シニア世代の負担にならないよう十分な時間を確保して実施する。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月以降
目黒区（行政）と実現に向けて話し合い	→					
ニーズに合わせたカリキュラムガイドライン作成	→					
助成金の申し込み	→					
デジタル活用支援員への研修受講者応募		→				
スマホ教室講師研修				→		
HPにて広報				→		
スマホ教室実施				→		

【アイデア実現までの簡単な流れ】

現在進行中のものは水色の矢印、今後行うべきことは赤色の矢印としている。3月以降は、月1回を目安に継続的に実施していく予定である3月以降は、月1回を目安に継続的に実施していく予定である。